

6月1日よりキッチンカーの出店を開始しました。



6月1日(火)より、当院敷地内にてキッチンカーの出店を開始いたしました。
月曜から金曜日の午前10時半から、当院南館の正面玄関付近で、毎日キッチンカーを出店いただいております。メニューは日替わりで、ランチにぴったりの料理から軽食、デザートやアイスコーヒーなどを提供している日もあり、幅広い時間にご利用いただけます。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出を自粛せざるを得ない中、レパートリー豊富な料理が身近で楽しめる、と患者さん職員共にご好評をいただいております。
ご来院の際には、ぜひお立ち寄りください。



メニュー（一部抜粋）

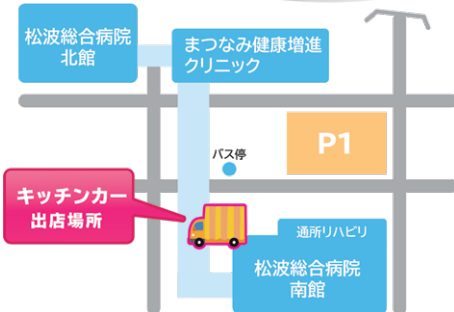
- ガパオライス
- 台湾まぜそば
- からあげ
- ローストビーフ丼
- サーモン南蛮タルタル丼
- 知多牛ビストロシチュー
- ベビーカステラ
- ソフトクリーム など...



キッチンカー情報

場 所	松波総合病院 南館 正面玄関付近
日 時	月～金曜日 10時30分～18時00分 (変動あり)

※各施設内に持ち込みが可能な飲食スペースはございません。予めご了承ください。



次のページは、「皮膚科」について

Matsunami Information

NEWS

新型コロナウイルス感染症に関する面会禁止、夜間施錠について

当院では、入院患者さんを新型コロナウイルス感染症からお守りするため、面会禁止とさせていただきます。今後の面会の制約につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、病院ホームページ等でご案内します。
また、各施設の出入り口の夜間施錠を行っております。当院をご利用の皆さまには、多大なご迷惑とご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。
右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前にご連絡ください。

場 所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
日 時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時45分～19時00分
連絡先	058-388-0111 (内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井



柔道部からのお知らせ

当院柔道部練習会で、一緒に汗を流している藤原由衣選手が、先日5月25日にアゼルバイジャンのバグーで開催された「視覚障害者柔道グランプリ大会52kg以下級」において、見事3位入賞銅メダルを獲得しました。
今後とも、皆さまの応援のほど、よろしくお願いいたします。



3位入賞した藤原由衣選手(写真右)▶

新型コロナウイルス感染症対策に関わる支援のご報告

このたび、当院へ温かいご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。ご寄贈の品は、当院で大切に使用します。

氏名・企業名	ご支援いただいた内容
カインダストリーズ株式会社 様	関係六ツメクリ
株式会社ハイビックス 様	伏臥位用 ポジショニング クッション
株式会社ARTISTIC&CO.GLOBAL 様	美顔器、 美容液セット

駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR2導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試ください!!



ダウンロード・詳しい使い方はこちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111 (代)

FAX 058-388-4711

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



人体で最大の臓器である“皮膚”の健康をお守りする診療科です。

当院の皮膚科の特徴



▲症状によっては、皮膚に存在するカビなどを確認するため、顕微鏡を使用します。

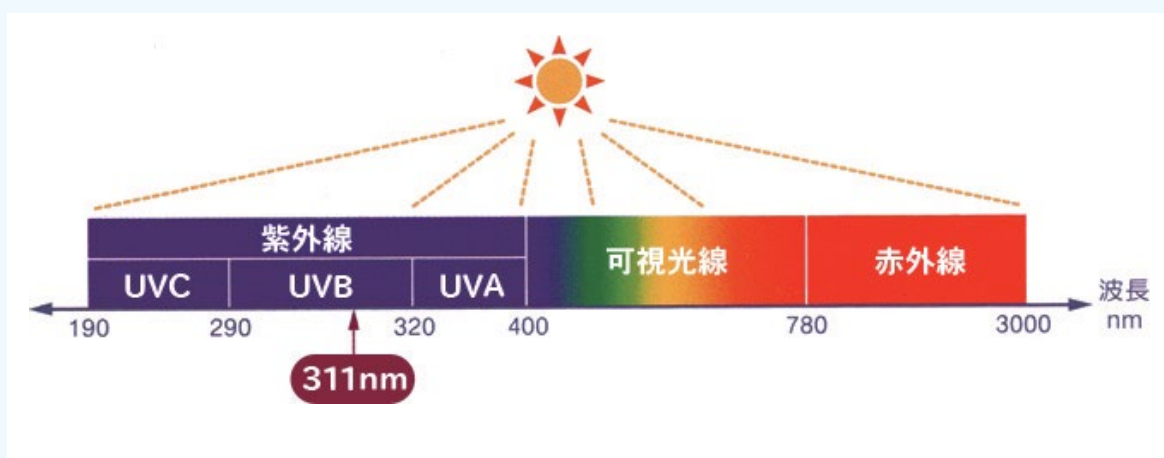
皮膚は、頭頂部から足のつま先まで人体の最外層に存在し、内臓や骨格を包み込む、最大の面積、重量を有する臓器です。不調であれば、外から誰でも見ることができ、触ることができる、他とは異なる臓器です。そのため、皮膚の不調の内容によっては、心理的負担が大きい場合もあり、整容面の治療だけでなく、患者さんの気持ちに寄り添った治療が必要になります。

当院の皮膚科では、皮膚に関するあらゆる異常に対して、診断・治療を行っています。具体的には、乳児湿疹、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎などの湿疹(しっしん)・皮膚炎をはじめ、蕁麻疹(じんましん)、掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)、乾癬(かんせん)、自己免疫性水疱症(じこめんえきせいすいほうしょう)などが主な対象疾患です。今までの治療法で、十分な効果が得られない成人アトピー性皮膚炎に対しての新しいタイプの薬「デュピルマブ(商品名:デュピクセント)」や、難治性の慢性蕁麻疹に対して蕁麻疹をおこす原因の一つと考えられているIgEを抑える作用がある薬「オマリズマブ(商品名:ゾレア)」を投与する治療も行っています。

2019年10月より、浅野医師が常勤医師として診療を行い、今年4月から永田医師が赴任したことで、常勤医師2名体制となりました。外来診療だけでなく、入院患者さんへの治療も行っています。他の診療科の患者さんで、薬に対するアレルギー反応で皮膚に関する対応が必要な際は、診察を行うなど院内の幅広い場面で対応しています。

そのほか、当院の皮膚科では、「デルマレイ200」という医療用紫外線照射装置を設置し、ナローバンドUVB療法を行っております。下記で、対象疾患や治療内容などを紹介していきます。

ナローバンドUVB療法について



紫外線UVBの中の311nm(ナノメートル)を中心とした波長で治療を行います。



▲患者は寝たまゝの状態、紫外線の照射が必要な部分に照射します。

太陽光線は紫外線、可視光線、赤外線、の3つにわかれます。なかでも、紫外線(UV)はA・B・Cの3種類に分類されます。ナローバンドUVB療法というのは、UVBのうち、副作用が少なく皮膚治療に有効性が確認された、非常に幅の狭い波長域(311±2nm)の紫外線のみを取り出して照射する治療法です。UVBの中でも特定の狭い範囲(ナローバンド)の紫外線を用いることから、「ナローバンドUVB」とよばれています。

当院で、ナローバンドUVB療法を行う主な疾患は、乾癬、掌蹠膿疱症、尋常性白斑(じんじょうせいはくはん)、円形脱毛症、アトピー性皮膚炎です。それぞれの疾患が軟膏などの外用薬だけでは症状がよくならない場合に、外用薬と併用してこの紫外線照射治療を行います。紫外線を照射する時間は、症状や肌質によって異なりますが、通常5分～10分程度です。この紫外線照射治療により、皮膚の炎症やかゆみなどを早期に軽減できたり、炎症の改善により外用薬の量を減らすことができます。

考えられる副作用として、太陽の紫外線を短時間でたくさん浴びると、炎症ややけどを負ってしまうようなことが想定されますが、照射量や治療回数の上限を遵守し、適切に行っております。この紫外線照射治療を受けられる際に不安な方は、医師と相談のうえ治療を受けていただきます。

担当医師プロフィール



皮膚科 医長
浅野 由祐子(あさの ゆうこ)

専 門 分 野

▶ 皮膚科一般

所 属 学 会

・日本皮膚科学会 ・日本アレルギー学会

資 格

・日本皮膚科学会:皮膚科専門医



皮膚科 医員
永田 五郷(ながた いさと)

専 門 分 野

▶ 皮膚科一般 ▶ アレルギー性皮膚疾患 ▶ 皮膚感染症

所 属 学 会

・日本皮膚科学会 ・日本アレルギー学会